

# コロナ感染予防のために 妊婦の皆様とご家族様へお願い

日頃より、感染予防対策へご理解とご協力頂き、ありがとうございます。

現在、市中感染が拡大しているため、当院では妊婦健診や分娩入院の体制を変更（面会禁止・立ち合い分娩中止）し、出産される母子の安全を第一に考え、感染予防に努めております。

そのため、妊婦の皆様が下記の①～④に該当する場合は、**来院せずにまずは病院へ電話でご相談**下さい。

該当する場合は、妊婦の皆様のみでなく、ご家族様も妊婦健診の付き添いや分娩来院時の付き添い等来院をお控え頂きますようお願いいたします。

- ①37.5度以上の発熱や咳、鼻水がある。
- ②現在、同居する人に発熱・咳などの症状がある。
- ③現在、同居する人が自宅隔離を要請されている。
- ④過去14日以内に、海外渡航の履歴がある。

上記に該当される場合は、分娩入院時に通常の分娩入院と対応が変わる可能性がございますので、**必ず症状が出現した時点で早めの電話連絡**をお願いいたします。

コロナ感染が拡大し、不安な日々をお過ごしと思います。皆様のよりよい出産・育児のスタートのお手伝いができますよう、産婦人科スタッフ一同お待ちしております。ご質問・ご意見がありましたら、お気軽にお声掛けください。

2020年4月15日  
国立国際医療研究センター病院  
産婦人科外来

## 【当院で出産予定の妊婦さんへ大切なお知らせ】

### ◎ 出産時の新型コロナウイルス感染の対応について

皆様におかれましては、新しい家族の誕生を楽しみに待ち望んでいると同時に、最近の新型コロナウイルス感染症の状況については、ご不安も多い日々を過ごされていることと思います。当院産婦人科でも、最新の情報をもとに、皆様が安心してご出産に臨めるよう引き続き対応して参ります。

ご出産前に新型コロナウイルス感染症を発症された場合、もしくは強く疑われた場合、①母子感染予防など未知の感染症に対する母子の安全のため、②院内感染の予防のため、ご出産は帝王切開で行うこととなります。

そのため、経膈分娩をご予定の患者様も、出産前に新型コロナウイルス感染症を発症もしくは強く疑われた場合は、急きよ帝王切開を行うこととなります。症状や妊娠経過によって、妊婦さんごとに実際の対応は異なりますので、入院時や外来受診時に担当スタッフからご説明させていただきます。ただし、感染予防で面会等の制限もあり、陣痛はいつ始まるかわからないなど、十分な時間をとってご説明・ご相談することが難しい場合もございます。ご不安も多い日々の中で、さらにご心配をおかけすることとなりますが、ご家族の中でも事前にお話ししていただくなど、あらかじめご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

皆様のご出産に安全に備えるため、特に 36-37 週から出産までは、毎日の体温測定とかぜ症状がないかどうか、記録をお願いしています（別途説明がございます）。疑わしい症状が見られた際は、早めに当院産婦人科までご連絡ください。また皆様には、引き続き感染予防に努めていただければと思います。

皆様が安心安全にご出産に臨めるよう、スタッフ一同引き続き最善を尽くして参ります。ご不明な点やご不安な点がございましたら、ご遠慮なくお声掛けください。

2020年4月15日  
国立国際医療研究センター病院  
産婦人科診療科長  
大石 元